

かなしいから、泣く
うれしいから、わらう
いやだから、やめてという

くやしいのに、えがおをつくる
うれしいのに、かくれたくなる
いやなのに、やめてと言えない

人間って不思議だ
自分の中に、いろんな人がいるようだ

ここにいると、いろんな出来事に出会う
気がついたら、じーっとみてる
思わず、声を出してしまう
なんとなくずっと、ここにいる
いつのまにか、時間が過ぎている

いろんなコトと出会うたび、いろんな自分が顔を出す
好きな自分、嫌いな自分、なりたい自分、なりたくない自分
いろんな自分でいいといいと、思ってくれている人がいる
ここでは、どんな自分でもいい



【川崎市子どもの権利に関する条例】は2001(平成13)年に全国ではじめてつくられました。子ども一人ひとりが人間として大切にされ、守られながら自分らしく生きられるように作られた、市と市民との「約束」です。

この条約をもとに、子どもの居場所・活動の拠点となるように作られた『子ども夢パーク』
ここは、子どもがだれでも自由に遊んだり、やたいことにチャレンジできる場所です。



- ★ 人間として大切な子どもの権利 ★
- 1、安心して生きる権利
- 2、ありのままの自分でいる権利
- 3、自分を守り、守られる権利
- 4、自分を豊かにし、力づけられる権利
- 5、自分で決める権利
- 6、参加する権利
- 7、個別の必要に応じて支援を受ける権利

★ 横丁税の使い道 ★

去年の11月29日の第六回横丁会議にて横丁税の使い道としてトランポリン、水上アスレチック、登り棒を作ることに決定しました。建設は今年の1月30、31日に行いました。去年の横丁に参加した子は意識が高い！スタッフが考えていた人数よりも多く参加していました！

作業の中心は水上アスレチック。せせらぎ池の中にコースを作るため、みんなで協力していくつか平均台を作成しました。横丁で建設を経験しているので、釘を打つ、組み立てるなどの姿が様になっていたように思いました。

イカダ作りも盛り上がっていました。木が重なっている板に発泡スチロールとクッションをつけて浮かべたものです。子ども一人二人ほどなら十分に浮かぶのですが、大人が挑戦しようとすると怖い！何人か濡れてしまふ人もいてひと笑い。全体的に和やかな雰囲気でした。（ス・いずみん）



★ 親子でもっとあそぼう会 ★

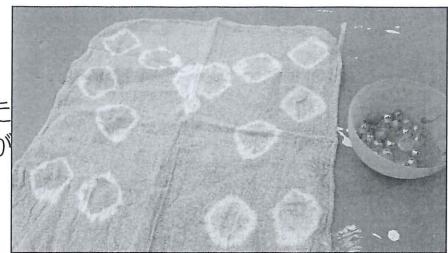
毎月第2水曜日に開催している「親子でもっとあそぼう会」。2月のあそぼう会では染物を行いました。

天気も良く暖かい日で、始まると徐々に人が増え始めてきました。今回の染物では玉ねぎの皮を鍋に入れて煮出してその中にハンカチを入れて色を付けました。ハンカチにビー玉をいくつか輪ゴムで止めて、さあ玉ねぎ鍋へ！玉ねぎエキスの中に漬け込んだハンカチを乾かすと鮮やかな黄色に！

全体的に水玉模様のハンカチもあれば、一部水玉模様のデザインもあったり、一人一人違うデザインでハンカチを開くときのワクワクとした表情がとても印象的でした。

他にもコーヒーでも染物を行い、渋めのグレーのハンカチも出来ました。

（ス・たかしー）



★ 『子どもの権利』ってなに？ ★

2月24日(水)、子どもの権利に携わり続ける山田雅太さんをお招きし、関心のある子ども、おとなとともに知り、考える時間をもちました。今回は、7つの権利を更に細分化した34の権利が書かれた魚から自分が必要な権利を釣り上げる遊びを交え、行いました。感覚的に手早く釣る人たち。熟考して釣る人たち。待っている間に生まれたカルタ釣りの遊びは、権利の内容を自然と耳にし、触れる時間にもなりました。権利を新たにつくり書き込める魚を真っ先に選んだ子が記したのは「みんなが笑顔でいる権利」「ごはんを食べられる権利」という、コロナ禍でとらえたことを理由にあげたもの。毎日の中で様々なことを感じ考えていることが伝わってきました。権利を英語にすると“Rights=あたりまえのこと”。あたりまえが“あたりまえ”になることを祈ります。（ス・けい）



支援委員会は、夢パークを市民の力で支えようということから始まったボランティア団体です。夢パークオープンと同時に発足し、夢パークと共に活動しています。

支援委員会の活動は、夢パークの取組みと一緒に考え方支援すること。乳幼児の親子が外遊びに親しむきっかけづくりのための「親子でもっとあそぼう会」、夢パークの理念と子どもにとっての遊びの大切さや夢パークの魅力を発信する「所長講演会」、市内で活動する遊び場グループなどとの交流を深める「遊び場交流会」、夢パークの掃除と利用者やスタッフとの交流を深める「おおそうじ大作戦」など、自主的な事業を行っています。

活動は、月に1回の定例会と具体的な活動になります。参加者を募集していますので、興味ある方は、夢パーク事務所にお問い合わせください。上記以外の活動もいろいろ考えたいと思っています。イベントのお手伝いだけの方も歓迎です！（支・なかじー）

夢パークでは、毎月、利用者懇談会として「つくりづづける会」という集まりを開催しています。これは、利用者なら、誰でも参加でき、自由に意見を言えます。これまでに、ここで出された意見や提案が実現したものがいくつもあります。また参加者同士の交流の場にもなっており、みなさんの近況報告などをしながら交流しています。

つくりづづける会はスタート以来18年目になりましたが、最近は参加する人も限られており、少しさみしい感じです。このため、どうやったら盛り上がるか、アイディアを出し合いながら考えているところです。

夢パークでやってみたいことがあつたら、提案してくださいね。

■つくりづづける会

毎月第3土曜日午後2時～
※詳しくは、夢パーク事務所にお問い合わせください。
（支・なかじー）



夢パーク特集

とわたしたち

最近、土に直接触れたことがありますか？

夢パークには、土と戯れ、何の躊躇もなく、泥に飛び込む子ども達の姿があります。それに比べ、私たち大人にとって、土に直接触ることは珍しく、出来れば控えたい、さらに言えば”汚い”と感じられる出来事だったりするのではないかでしょうか。子どもに、「ねー見て！」と、泥だらけの手を見せられ、一歩後ずさってしまう。

そもそものはず、土を見る、触る、嗅ぐ、感じるということから、私たちは知らず知らずのうちに遠ざかっています。土に触れなくても、生きていける、むしろ土に触れている暇もないくらい忙しい日々を生きているのが令和時代の私たちです。ですから土を、汚く、邪魔に感じるのも当然のことだと思います。

しかし、見方を変えてみると、どうでしょう。生きる糧となる食べ物から、薬や洋服、そして私たちが常に触れているといつても過言ではないスマートフォンの部品。私たちが身に着けるものから、身体の内側にある細胞まで、あれもこれも、元を辿れば、全部土から生まれています。「母なる大地」とはよく言ったもので、土がなくては生きられないというのもまた一つの事実です。

そう考えると、大人が暮らす、子どもが遊ぶ。どちらも、似ているように見えてきます。土をいじくり、土の助けを借りながら、日々を精一杯生きていく。違うのは、せっせと土まみれになるのは子どもで、せっせと汚れを落とすのは、かなしいかな、たいてい大人達なのです。

裏面には、その汚れ落としが少しでも楽になるような夢パークつうしんの過去の記事と新たな記事を載せました。こんな記事を書く私も家に帰れば、汚れた靴下をこすり合わせる日々です。今日も子ども達は土と共に家に帰ります。どうあがいても土と一緒にしか生きられない私たち、どうせなら、土とうま～く一緒に生きていく方法を考えていきたいものです。

(ス・やのちん)

泥遊びと子どもたち

始まりは、少人数だった。土山でスコップを使って穴を掘り、水をためてダムを作る。

周りでは「なにやってるの！」「おもしろそう」と、気が付けば一人…また一人と人数がふえていく。

「こっちにも広げよう」「崩れてきてる！！そっちふさいで！」「板をいれてみよう」

子ども達は考え方でいく。小さかったダムは、どんどん広がり大きな池に。

作っていく中で、時にはぶつかり合いもある。それだけ子ども達は本気だということ。

「今日は汚れちゃいけないんだった…でもいいや！」どんどん夢中になっていく子ども達。

いつの間にか大人数での遊びに変わっていく。

掘る・固める・水と混ぜる、色んな形に変化する泥だからこそ、遊びも人の繋がりも広がる。

そんな泥の魅力にハマっていく。汚しちゃ大変だから遊ばないなんて、もったいない！

子ども達には、その日その日にある出会い・物語を楽しんでほしい。

(ス・まりっぺ)



大人们的 の本音ボロリ...

ほかの子が泥だらけのはぜんぜんOKだったんですけど、でも自分の子が汚れちゃうとショック！

よごれてもいいけど、この服着せてこなきゃよかつたな～…高かつたのに。

せっかく長ぐつはがせて来たのに、うちの子が飛いたら長ぐつで水浸してたよ…

みんな快く許してるのは珍しいんですね；；

ついつい抱っちゃったけど、考えてみれば子どもだって汚したくて汚したわけじゃない、あとから自己嫌悪。

ズボンの折り返しには要注意！あら、ポケットからるかが…！

洗濯だって大変ですよね。どうしているんですか？

こ、これで電車に乗って帰るの、イヤだな～。子ども用の地下足袋ってないのかしら？

みんな気持ちは同じなの。そんなみんなを応援するいろんな知恵や工夫もあるのよ！

夢パークに来ているママたちに聞いた

ドロシコヌオサ あ～手この手！

しつこい泥汚れには、『きなりっこ粉せつけん』でつけ置きした後、ゴシゴシ洗いで結構きれいになるわよ！

何枚か脱がせて服の香えを確保！夢パーク用の服をつくったほうが気が楽になるよ。

靴下は、手を入れてあわせてゴシゴシ。

よごしてほしくない服はとりあえず脱がせる。タイミングにもよるけど、本当にやりたがってる時ならうまい具合に脱いでくれる。

泥よごれはまず水洗い。亀の子たわしでゴシゴシするところは落ちるのよ。

長ぐつだとスニーカーよりも汚れにくく、洗うのも楽～！

お下がりの服、フリマで安く買った服が重宝。夢パークで『おさがりバザール』っていう服の無料交換会もやっているの。もらうだけでもOKよ！

靴やビニール素材に付いたペンキは、時間がたってもペンキはがし液とかでかなり落とせる！すごい臭いだけど。

ペンキがついちゃったら、すぐ水洗い。服のペンキもすぐにたわしでこすればかなり落ちる。

どろんこのくつは、とりあえずぞうきんでふくといいよ。事務所で貸してくれるよ。困ったことがあつたら、スタッフに相談してね！

夢パークつうしん
2007年3・4号より再掲

泥あそびのあとは どうしよう♪

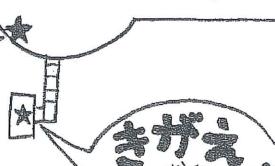
着替えは？
洗う場所は？



全天候
広場

おさがりバザール
開催日は
つうしんカレンダーで

たてもの

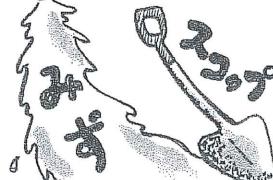
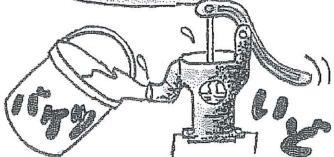


わからずことは
スタッフにまかね



ホース

こんなあるよ～
泥あそびマテル





■ スタジオプロジェクト ■

3月13日(土)新型コロナウイルスが流行して以降、初めての開催になりました。今回の活動の目的は夢パークで『どうしたらライブを行えるか』を話し合うために、中高生と大学生が集まってくれました。

中高生から部活の再開に気を付けたこと、ライブのやり方など、話してもらいました。学校ごとに様々な対策、消毒、換気など、気を使い部活動をしていることを教えてもらいました。そして、次第に話は白熱していきます。今回揃ったメンバーはみな、バンドマンです。

「やっぱり、夢パークでお客さんのいるライブがしたい！」と意見が出て、みんなで決めた目標は

「今年度一度はライブをやる！」ということ。

ライブを開催するためには、話し合う機会が必要になります。興味のある方はぜひ来てください！



★『サタデーナイトスタジオプロジェクト』

第2, 4土曜日18:00頃から、夢パークにて
(ス・とら)



フリースペースえんでは、日々様々な学びが子どもたちによって繰り広げられています。しかも、その学びの種類は多岐にわたります。夢パークの環境を活かして畑での野菜作りや米作りを通して作物の育ちを学んだり、月に10以上ある講座を通して、演劇、歌、ダンス、民族音楽、染め物、料理などを学んだり、遊びを通じて土のダムづくり、泥団子づくり、火おこしをしてみたり、持ち運びができる簡易顕微鏡を使って、土の中にあるきれいな石を探してみたりしています。最近では、オンラインの特性を活かして海外の方々とのつながりも増えました。もちろん、高校受験や高卒程度認定試験を見据えて英語や数学などの教科学習を行う子もいます。他ではできない多くの学びを通じて、子どもたちは楽しみながら日々を過ごしています。

(ス・しもん)



■ 秘密基地の盛り上がり ■

最近の夢パークには、なんと『秘密基地ブーム』がきています！木の枝だけを使ったもの、自転車のパーツやネットを組み合わせたもの、ただ穴を掘っただけのもの、とその基地の様子は様々。畳を敷いて土足厳禁なんて場所も。

夢パークは木材置き場や素材倉庫などにたくさんの材料があります。持っていきたいものを掘り出して重い柱なんかもみんなで一緒に運び、時々ケンカしたりほめあったり。その日に終わらない時は、次に来る日を約束したりして、何日もかけて作り上げていきました。

自分たちで作った、自分たちだけの居場所はやはり居心地が良いみたい。なにかと秘密基地に行ってお菓子を食べたりお話をしたり。

飽きたら、別の場所に新しく作ったり、時には誰かが作った基地をこっそり使ってみたり。子どもたちの発想が爆発した基地があふれてさらに面白くなっています。

(ス・ひろと)



«ボランティアの方に聞きました！その1»

■ ゆるりであそぼう話そう会 ■

乳幼児用のお部屋『ゆるり』で月に1回、赤ちゃんから3・4歳くらいのお子さんと保護者の方を対象にわらべうたなどの親子あそびや絵本の読み聞かせ、簡単な製作・絵画と「子育て相談」ができる会があるのをご存じですか。

保育園や児童相談所で長く勤められたボランティアの方が、経験を生かしてテーマを決め、保護者と一緒にお話をされています。「保護者の方が子どもと一緒に楽しく歌ったり、遊んだり、絵本を見たりして、子どもに向かい合っている姿や笑顔を見られると嬉しいです。」と話されています。

お気軽にご参加ください。

★毎月第4水曜日

10:30~

(予約は不要)

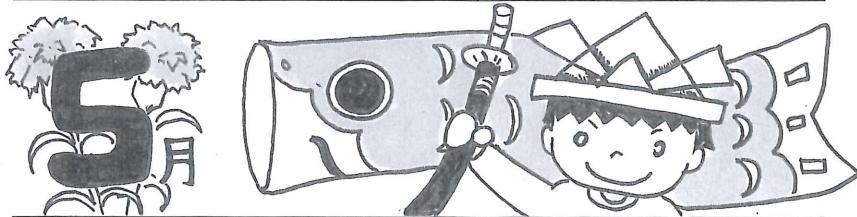
(ス・いるっち)





4・5月のイベント

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9 金曜あそぼう会	10	11
12	13 中川さん 川野さん	14 親子でもっと あそぼう会	15 さくら	16	17 づくりづげる会	18
19	20 点検日 休み	21	22	23 金曜あそぼう会	24 ベーゴマの日	25
26	27 17時 閉所	28 ゆるりであそぼう 話そう会	29	30		



月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3祝日	4祝日	5祝日	6	7	8	9
10	11 中川さん 川野さん	12 親子でもっと あそぼう会	13	14 金曜あそぼう 会	15 づくりづげる会	16
17	18 点検日 休み	19	20 さくら	21	22 ベーゴマの日	23
24	25 17時 閉所	26 ゆるりであそぼう 話そう会	27	28 金曜あそぼう 会	29	30

火と工具の日 たき火ができます。工具が使えます。
きれいにし隊 11:30から夢パーク周辺のごみ拾いをしています。
畑作業 入口近くの畑で季節に応じて苗を植えたり、収穫したり、季節の作業をします。芋ほり等の日程は、夢パーク内に掲示します。

◆金曜あそぼう会

乳幼児親子対象、外遊びを楽しむ会です。内容は当日のお楽しみ！着替えがあると思い切り遊べます。申込みは不要。

日時：4月9日・23日、5月14日・28日

(金) 10:30～12:45



◆おはなしパーク

ボランティアさんによる絵本の読み聞かせの時間です。
乳幼児対象。申込みは不要。

時間：11:00～ 場所：ゆるり(変更の場合もあります)

中川さん川野さんの読み聞かせ 毎月第二火曜日

おはなしブックカフェさくら 每月第三木曜日



◆親子でもっとあそぼう会

乳幼児親子対象。プレーパークで一緒に遊びませんか？
申込みは不要。汚れてもいい格好で来てください。

内容：4月14日(水)『プレーパークを楽しもう♪』

5月12日(水)『生葉たたき』



時間：10:30～13:00

◆ゆるりであそぼう、話そう会

乳幼児親子対象。申込みは不要。

ボランティアさんによる室内遊び、読み聞かせの他、お悩みを気軽に話しや相談ができます。

内容：4月28日(水)『男の子と女の子について』

5月26日(水)『服の脱ぎ着などについて』



日時：10:30～11:30

場所：ゆるり



◆つくりづげる会（利用者懇談会）

夢パークを利用する団体や個人、支援委員会、夢パーク・えんスタッフたちで近況報告や情報交換、また、夢パークの利用のことやイベントのお知らせ、夢パークでの出来事などを話しています。夢パークについて関心のある方、どなたでも気軽に参加できます。ぜひ、のぞいてみて下さい。

日時：4月17日(土) 14:00～

5月15日(土) 14:00～



◆おさがりバザール

我が家には小さくなった子ども服や靴を無料で譲りあっています。ご家庭にある冬物をお持ち寄りください。

※おさがりのお持込みは、おさがりバザール期間中にお願いします。(5、7、9、11、1、3月)

★奇数月の『点検日』翌日から1週間

日時：5月19日(水)～25日(火) 9時～18時

場所：事務所前

◆ベーゴマの日
初めての子も、得意な子も、一緒にベーゴマをまわそう！
ベーゴマの貸し出しもあります。申込みは不要。
日時：4月24日・5月22日(土) 14:00～



開所時間：午前9時～午後9時

★入場無料

★駐車場はありません（障がい者用駐車場についてはおたずねください）

★イベントは都合により中止または変更となることがあります。ご不明な点はスタッフまでお尋ねください。